

あいさつ運動の好事例

早島町立早島小学校

(児童数750名 教職員数69名)

心通うあいさつを

～ 日常の生活を大切にしたい取組 ～

アピールポイント

本校ではあいさつ運動を朝の活動だけに特化せず、日常の様々な場面で、児童の所属感と自己有用感を高める取組になるようにしています。写真は毎日行われる一斉下校時に、にこにこ笑顔で、心通う「さようなら」を職員としているシーンです。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

明るい表情で登校し、廊下等で出会ったときにもあいさつができる児童が大半であるが、一方で自分に自信が持てなかったり、元気のない表情で登校したりする児童がいる。

■活動内容

- ①登校時参加型あいさつ運動
- ②あいさつパンダで、にこにこ笑顔
- ③ありがとうの木を育てよう

■取組の参加メンバー

児童生徒、登下校ボランティア見守り隊、教職員、児童生活委員会が中心となって実施

■成果・効果

①②は、あいさつ運動に全児童が随時参加できる形にしたことで運動自体を盛り上げることができた。また③は、学校全体で取り組むテーマを学級内で実現したい目標設定におろすことで学級の雰囲気づくりに役立てることができた。